

水道スマートメーターの実証実験について

1 実施の背景及び目的

現在、水道メーターの検針は、地理的等の理由から検針の難しい箇所があること、検針頻度が少ないため漏水の発見の遅れに繋がっていること、検針員の高齢化により人材の確保が難しいことなどの課題があります。

今回の実証実験は、スマートメーターの自動検針による難検針箇所の通信状態や通信データの正確性の確認、漏水の早期発見等の市民サービスの向上への有効性の検証、業務効率化の検証を行うことが目的です。

2 実証実験の概要

- (1) 実験期間 令和 6 (2024) 年 3 月～ 9 月
- (2) 設置箇所数 7 箇所
- (3) 概要

那須塩原市と東日本電信電話株式会社 (N T T 東日本) 及びエヌ・ティ・ティ テレコン株式会社 (N T T テレコン) が、水道事業の D X 化に向け、スマートメーターと集中管理システムを活用した遠隔検針の検証、長時間利用警報を活用した漏水の早期発見の検証、業務効率化の検証を行います。

- (4) 想定される効果
 - ・ 難検針箇所の解消
 - ・ 漏水の早期発見
 - ・ 検針業務の効率化による、検針コストの削減、人員不足の解消

3 スケジュール

令和 6 年 2 月	N T T 東日本、N T T テレコンとの実証実験の実施に関する覚書の取交し
令和 6 年 2 ～ 3 月	設置箇所の検討、実験の準備
令和 6 年 3 ～ 9 月	実証実験 ※実験の結果は、逐次検証を行う。
令和 6 年 1 0 月	成果報告